

東洋療法いいわて

会報第54号

令和4年5月1日発行

一般社団法人岩手県鍼灸マッサージ師会

巻 頭 言

一般社団法人 岩手県鍼灸マッサージ師会
会長 佐々木 実

昨年度に続いて新型コロナに始まってコロナに終わろうとしている令和3年度です。コロナはデルタ株からオミクロン株へと変異し世界中に広がっています。そんな中でも日本では東京オリンピック、パラリンピックが行われ日本人の活躍が私たちの心を明るくしてくれました。

岩手出身のスポーツ選手も大活躍で、大リーグのMVPを獲得した二刀流大谷翔平、ブルージェイズの菊池雄星、ロッテ・マリーンズの佐々木朗希、スキージャンプの小林陵侖、ノルディックの永井秀昭、スノーボードの岩淵麗楽らの活躍は私たちに勇気を与えてくれました。

さて、コロナの流行はあらゆる物事に影響を及ぼしています。当会でも今年度予定していた「創立80周年記念式典」が令和4年5月8日へと延期となってしまいました。

しかしながら会員の皆さんの協力と努力により、総会をはじめ各種研修会をオンラインで行うことが出来、今年度の当会行事は全て達成することが出来ました。

コロナ禍はまだまだ続きそうです。そんな中で、どのようにして鍼灸マッサージ業を発展させて行くかを考えていかなければならないと実感しています。皆さん、力を合わせて頑張ってください。

最後に、私事ですが皆さんのご支持のおかげで全鍼の理事に当選することが出来ました。東北、北海道を合わせてもたった一人の理事です。微力ながら地方の意見を全国に反映させるべく頑張ってくださいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

令和4年度こそはコロナが収束し通常の行事が行われることを祈念して巻頭言といたします。

目次

巻頭言	会長 佐々木 実	…	2
令和3年度活動報告			
総務部報告			
庶務日誌	総務部長 古館 吉弘	…	4
第1回理事会議事録並びに第80回定時総会議事録	… 中渡 智彦	…	5
会長会務報告			
全国師会長会議報告	会長 佐々木 実	…	7
東鍼連師会長会議報告	会長 佐々木 実	…	8
第73回東鍼連通常代議員会議報告	古館 吉弘	…	9
学術部報告	学術部長 佐藤 明	…	10
組織強化部報告	組織強化部長 佐藤 茂	…	11
第1回法制担当責任者会議報告	法制委員担当 佐藤 茂	…	12
健康づくり委員会報告	委員長 古水 健吾	…	12
第20回東洋療法推進大会 in 大阪報告	学術部長 佐藤 明	…	13
東洋療法大会 in 大阪に参加して	中渡 智彦	…	14
東洋療法大会に参加して	古水 健吾	…	15
第43回東鍼連学術山形大会報告	学術部長 佐藤 明	…	15
令和3年度各支部活動報告			
一関支部	支部長 舘下 正則	…	16
大船渡支部	支部長 古水 健吾	…	16
盛岡支部	支部長 佐藤 明	…	16
投稿 二度目の里帰り	盛岡支部 袖林 正美	…	18
編集後記	広報部長 松下 優子	…	20

奥付

一般社団法人岩手県鍼灸マッサージ師会 令和3年度活動報告

総務部報告 庶務日誌

総務部長 古館 吉弘

- 4月 1日 千葉健一元監事の死亡に際し弔電を送る
- 4月 8日 法人県民税・市民税納入
- 4月10日 佐々木実氏全鍼の岩手県師会代議員辞任。代わって佐藤明氏当職就任
- 4月13日 盛岡医療福祉スポーツ専門学校鍼灸学科入学式に祝電を送る
- 4月21日 国保連岩手県審査会審査員に井口力保険部長を推薦し受理される
- 4月22日 日本鍼灸マッサージ協同組合岩手県総代人名簿を協同組合に送る
- 5月 2日 第1回監査会並びに第1回執行部会議開催
- 5月16日 第1回理事会並びに第80回定時総会開催
- 5月23・24日 全鍼代議員総会、協同組合総代会、全鍼連盟総会が開催され佐藤明氏オンライン出席
- 7月 4日 東鍼連山形大会がオンラインにより開催（代議員会議に東鍼連会長「岩手県師会」会長の佐々木実氏と古館吉弘氏が出席）
- 8月 1日 第2回執行部会議開催（オンライン）
- 10月17日 第20回東洋療法推進大会 in 大阪がハイブリッド兼オンデマンドで行われ佐々木会長が現地出席。その他数名がオンラインとオンデマンド参加（全鍼法人化40周年記念で古館吉弘副会長が表彰される）
- 11月 7日 第2回監査会並びに第2回理事会開催（オンライン）
- 11月13・14日 全鍼師会協同組合研修会並びに都道府県師会長会議に佐々木会長出席（東京）
- 11月18日 東鍼連保険部担当者オンライン会議開催（佐々木会長と井口保険部長出席）
- 12月 3日 東鍼連第1回オンライン理事会が開催され佐々木会長出席
- 12月 9日 全鍼師会法制委員会オンライン会議に佐々木会長と佐藤茂法制委員出席
- 12月10日 全鍼師会視覚障害委員会第1回ズームミーティングに佐々木会長と古水健吾氏出席
- 令和4年1月9日 第3回執行部会議開催（オンライン）
- 2月 7日 視覚障害者団体連絡協議会開催（オンライン）佐々木会長出席
- 3月 3日 盛岡視覚支援学校同窓会に入会案内を送る
- 3月17日 盛岡医療福祉スポーツ専門学校卒業式に祝電を送る
- 3月20日 第3回理事会開催（オンライン）

尚、メール版県師会情報を122回配信した。（3月27日現在）
会員動向 入会者0名、退会者8名。

一般社団法人岩手県鍼灸マッサージ師会 第1回理事会並びに第80回定時総会報告

(コロナ蔓延防止のためオンライン開催)

第1回理事会議事録

日 時 令和3年5月16日(日) 9時30分～10時

場 所 オンライン会議

記録人 中渡 智彦

開会に先立ち、古館総務部長から理事14名中12名(清水寛平理事、佐々木きみ子理事欠席)、監事2名中2名の出席があり、定款第30条を満たしており理事会が成立することが告げられた。議長と議事録人は執行部一任を受け、出席理事より議長に古水健吾氏、議事録記録人には中渡智彦氏が選任された。

議事

第1号議案 令和2年度各部事業報告と承認

総務部、庶務部、学術部、事業部、保険部、組織強化部、広報部、特別委員会報告(健康づくり委員会、無資格対策委員会)より順次報告があり、全会一致で承認された。

(別紙資料参照)

第2号議案 令和2年度財務部収支決算報告並びに監査報告と承認

財務部長より令和2年4月1日から令和3年3月31日までの報告があった。

続いて監事から帳簿や領収書綴り等にも誤りがないことを認めるとの報告があり、全会一致で承認された。

第3号議案 選挙管理委員の任命について

古館総務部長から選挙管理委員に井出裕貴氏、村上直人氏、大澤睦子氏を任命したいと提案され、了承された。

第4号議案 その他

特になし。

第80回定時総会議事録

日 時 令和3年5月16日(日) 10時～11時50分

場 所 オンライン会議

記録人 中渡 智彦

開会に先立ち、古館吉弘総務部長から会員数98名中30名の出席、委任状54名、欠席14名があり、定款第17条を満たしており定時総会が成立することが告げられた。

(理事2名欠席、監事1名欠席)

出席理事 代表理事佐々木実、以下理事、佐藤明、古館吉弘、山本英典、井口力、中渡智彦、佐藤茂、松下優子、館下正則、古水健吾、千田節雄

欠席理事 清水寛平、佐々木きみ子

出席監事 朝橋正美

欠席監事 菊地弘

議長と議事録記録人、議事録署名人は執行部一任を受け、出席理事より議長に古水健吾

氏、議事録記録人に中渡智彦氏、議事録署名人には佐々木忠久氏、佐藤茂氏が選任された。

議事

第1号議案 令和2年度会長会務報告(佐々木実会長)

- ・コロナの影響で患者さんが減り、出張治療を行ってる人たちから仕事がなくなったことで、8名ほど県師会から退会した。
- ・災害対策委員長をお願いしていた藤沼敦子氏が退会したことにより、佐々木実氏が兼務することになった。
- ・全鍼の代議員の佐々木実氏が理事に立候補したことにより代議員に佐藤明氏が就任。
- ・今年は免許保有証の初年度に申請した61名の更新年に当たり、申請した人は25名だった。(初回申込者の半分以上)。更新数が少ないのは、更新手続きの煩雑さや、メリットをあまり感じないからではないかと分析している。
- ・2年に1回行っている療養費改定が来年6月にされる予定。これから審議が始まり、往療料が減らされる一方、施術料が高くなるのではと予想している。

質問(高橋久喜) 柔整師の人たちが、マッサージが私たちの仕事だと言っている。会としてどう考えているか?

回答(佐々木会長) 柔整の人たちは、柔整マッサージとして自由診療を行っているケースがある。柔整のマッサージと我々が持っている免許は違うということをアピールしていく必要があると考えている。

質問(田沢博崇) 整骨院で揉んでもらうと保険が利くと思ってる人が多いが、間違った認識ではないか?

回答(佐々木会長) 一般の人は、柔整師がするもみ療治もわれわれが行うもみ療治もリラクゼーションの人たちがするもみ療治も全部マッサージと思っている。免許を持った人しかマッサージは出来ないと、もっとPRする必要があるし、全鍼にも伝え運動して行きたい。

第2号議案 令和2年度各部事業報告と承認

総務部、庶務部、学術部、事業部、保険部、組織強化部、広報部、健康づくり委員会、無免許対策委員会より順次報告があり、全会一致で承認された。(別紙資料参照)

第3号議案 令和2年度財務部収支決算報告並びに監査報告と承認

財務部長より令和2年4月1日から令和3年3月31日までの報告があり(別紙資料)、続いて監事から帳簿や領収書綴り等にも誤りがないことを認めるとの報告があった。

第3号議案は全会一致で承認された。

第4号議案 選挙管理委員任命について

古舘吉弘総務部長から今年度も引き続き井出裕貴氏、村上直人氏、大澤睦子氏に選挙管理委員をお願いしたことが報告され、了承された。

第5号議案 令和3年度各部事業計画について

総務部、庶務部、学術部、事業部、保険部、組織強化部、広報部、健康づくり委員会、無免許対策委員会より順次報告があった。(別紙資料参照)

コロナの影響により中止や延期多数。

第6号議案 令和3年度財務部予算について

財務部長より令和3年度の予算書（収入、支出）の説明があった。（別紙資料参照）
第7号議案 その他
特になし。

会長会務報告 全国師会長会議報告

会長 佐々木 実

会議は、11月14日（日）東京の四谷三丁目にある貸し会議室を会場にハイブリッド方式で行われました。私は現地参加しました。

内容は、上半期の事業・会計等の報告、下半期の計画、各県提出議題の三つでした。話し合われた事項を略記します。

（総務）・会員数が昨年度より825名減って7,117名となった。

・免許保有証の更新者は6年前の新規申し込み者中三割程度しかなかった。

（財務）・会員現象のため、昨年度より約1,500万円の減収となった。ただ、コロナによる活動萎縮のため1千万円余りが今年度末の残金となりそうだ。

・東洋療法推進大会 in 大阪では550万円の予算に対して、決算は200万円程度に抑えられた。オンラインで会場費や講師の交通費がかからなかったため。

（組織委員会）・労災保険アンケートは実施期間が短かったにもかかわらず300通を超えて集まった。感謝したい。

（将来ビジョン委員会）・鍼灸マッサージを魅力のある仕事にしていくために会員増強の案を考えている。テーマを絞って各県師会長とオンライン会議を開いていきたい。各県師会からは、学生とのオンライン交流会を行っている県、会員の女子会をやっている県、会員外の人も含めて交流会を行っている県などの報告があった。

（東洋療法推進大会）・今年は465名の参加があり盛況であった。ハイブリッド方式を続け、来年は埼玉県熊谷市の温泉で行う予定。来年からはそのやり方を変えて行う予定。来年の予定は10月23日、24日（日、月）。

（各県提出議題）

・和歌山県師会 コロナ収束後も会議や研修会でハイブリッド方式でのやり方を続けてほしい。

（会長）そのつもりである。

・山口県師会 あはき法改正の際にマッサージの定義をきちんと入れてほしい。

（法制）無免許者の取り締まり、差別化がどうしたら一番効果的なのかなど検討しながら進めていきたい。

（その他）

・国が行う労災保険があはきにも実施された場合、民間よりずっと有利な条件なので加入してほしい。認められれば来年の4月から申し込みが始まるものと思われる。

・「やすらぎ」という名称を看板に使っている人たちに、「その名は特許登録しているから使用料を払え」と葉書が届いている。そんなことはありえないので、そのよう

な通知が来ても慌てないようにしてほしい。全鍼のHPにもそのことを掲載しているので見てほしい。

- ・あはき連盟会費のご協力を引き続きお願いしたい。

以上で会議終了となりました。コロナが減っているためか、都内は人通りが大分戻っている感じでした。このままコロナが収まってくれることを願いつつ会場を後にしました。

東鍼連師会長会議報告

会長 佐々木 実

会議は高橋財務局長が都合により欠席（代理は高橋秋田県会長）の他全員が参加し、12月3日午後7時から8時30分までオンラインで行われました。議題は1. 東鍼連山形大会の反省、2. 令和3年度上半期の事業・会計報告と下半期の予定、3. 各県活動状況などでした。以下に話し合われた事柄を略記します。

（東鍼連山形大会について）

山形県師会からホスト役の山形事務局にトラブルがあって40分ほど遅れて始まったが、それを除けば計画通りに進んだ。各県からは初めてのオンライン開催でもあり大変だっただろうと思うが、成功裏に終了してよかったと労をねぎらう声が多かった。

（今年度の会費徴収と金銭管理について）

会長より、2年間集まったの東鍼連大会がなかったことから、残金が62万ほどある。年間40万円もあれば運営は可能。今年度分を免除するかどうかを討議してほしい。

また、現金で毎年担当財務局長が代わり管理しているわけだが、通帳管理なども含めて討議してほしいとの提案があり、協議した結果意見が別れ、各県それぞれに持ち帰り県師会幹部と話し合った結果を東鍼連に報告し結果を出すこととなった。

その後（10日後）、各県からの報告を受けて、今年度の会費は集めないこと、金銭管理については毎年財務局長が代わることから通帳管理よりも現金管理が簡便とし、現金は財務担当県が責任をもって預かるという考えの下、これまで通りのやり方と決まった。

（来年の東鍼連秋田大会について）

7月2日、3日（土、日）に前回の会場だった「ゆぼっぼ」で、ハイブリッド方式で行う予定だが、コロナの状況で変わることもある。

臨床体験テーマは「通電療法」。参加費は、現地参加は1万8千円。

（秋田交流会について）

12月19日（日）にオンラインで午後1時から行う。夜には懇親会も予定している。参加費は4千円で秋田の名産品が参加者には送られる（3,500円程度の）。その名産品を食べながら飲みながら懇親会に臨んでほしい。

（来年度の交流会について）

青森県師会担当で、下北半島観光を中心に行いたい。恐山、仏ヶ浦、大間など。

（会長） 東鍼連は10年に1度の記念大会の時に各県から会長表彰を行っているが、それぞれの県で創立〇〇周年式典を行う時にも申し出があれば表彰状を出したいがいかがか？

（全理事賛成で決定）

（各県活動状況）

- 岩手 会議や研修会をコロナ収束後もハイブリッド方式で行くための実験中。
- 秋田 Zoomの体験会をやって行く予定。
- 山形 コロナワクチンの優先接種を県に申し込んだが、市町村レベルなのでそちらと交渉してくれと言われた。
- 青森 ほとんどの研修会が中止となっている。今度1月予定の研修会は集まって行う予定。他県からの参加も歓迎する。
- 福島 創立110周年記念式典を12月5日に行う。祝賀会は行わないが、記念誌を作り配布する予定。
- 宮城 コロナによる営業への影響調査、医師の同意書アンケート調査など4つのアンケートを行い中。

第73回東鍼連通常代議員会議報告

代議員 古舘 吉弘

第73回東鍼連通常代議員会議山形大会が令和3年7月4日に開催されました。今回はコロナ禍の中、ズームアプリを使ったオンラインでの会議となりました。

出席者は全県から理事と代議員、東鍼連事務局長、財務局長、次期事務局長と財務局長、保険、組織強化、学術のブロック長、オブザーバーとして山田、梅宮顧問の参加でした。

平栗福島県師会長の開会の辞、東鍼連会長（岩手県師会長）佐々木実会長のあいさつ後、議長に笹川青森県師会長、議事録人に菊地東鍼連事務局長を推薦して議事に入りました。

第1号議案の令和2年度行事活動報告が菊地事務局長からありましたが、コロナのためほとんどの行事が中止となったとの報告です。

第2号議案の収支決算報告と監査報告についても全会一致で承認されました。

第3号議案の令和3年度行事活動計画については、

- ・ 来年度の東鍼連大会は秋田が主催で、7月2日、3日(土、日)を予定している。
場所は角舘芸術村「湯ポッポ」を予定しているが、コロナの状況によってオンラインの可能性もある。大会テーマ「アフターコロナの健康は東北から一世界に発信」。
学術発表テーマ「通電治療について」。
- ・ 令和3年度の東鍼連秋田交流会はオンラインで行う予定。保険レセプト処理などについての講演を予定している。
- ・ 令和4年度の東鍼連交流会は青森が担当で、9月に下北半島観光、大間のマグロ解体などを予定している。
- ・ 各部（保険部、組織強化部、学術委員会）担当者による事業計画などが報告されましたが、詳しいことは、岩手県師会の各部担当者より後に報告があると思いますので省略します。

第4号議案の予算案については全会一致で承認されました。

第5号議案の各県提出議題については、福島県より、コロナ禍のこういう時だからこそ、オンラインなどを利用して学術や懇親会などを深めて行こうという案が出され、各県賛成とのことでした。

第6号議案のその他では、秋田県より「各県の役員の視覚障害者の割合を教えてください」とのことでしたが、ほとんどの県が6、7人の役員中、2、3人というところで、岩手が9人中7人と一番多く、秋田が6人中1人と一番少なかったです。

私は何年か振りに代議員として出席しましたが、顔ぶれも何人か入れ替わっていましたが、やはり高齢者が多かったです。これからは若い人たちにもっと役員になっていただき、会を引っ張って行ってほしいなと思いました。

また、今回はオンライン開催でしたが、今後もこのような形は多くなると思います。私のような視覚障害者にとっては家にいて参加出来るこの方式はメリットが大きいと思いました。これからもオンライン方式と実際集まったの会議など併用していけばいいなと思いました。

以上で報告を終わります。

学術部報告

学術部長 佐藤 明

・令和3年度生涯研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、オンライン開催に変更して実施及び参加したことを次に記します。

1. 6月6日 第1回生涯研修会：オンライン開催、参加者24名

内容(1) 講師：井口力保険部長

講演：「保険関係の最新情報について」

(2) 講師：佐々木実会長

講演：「業界の中央情勢について」

(3) 講師：村上直人先生(盛岡支部)

東鍼連山形大会学術発表予行

講演：「不定愁訴に対する鍼治療」

(4) 講師：佐藤茂先生(鍼灸瓢箪堂院長)

「あはき講座」

講演：「打鍼術」

2. 7月4日 第2回生涯研修会：東鍼連山形大会オンライン開催、会員16名参加

臨床研究発表：「不定愁訴症候群に対するアプローチ」

発表者：村上直人先生(盛岡支部)

演題：「不定愁訴に対する鍼治療」

3. 8月8日 第3回生涯研修会：教養講座

オンライン開催、会員20名、他県9名含め29名参加

講師：岡崎正道先生(元岩手大学教授)

講演：「高野長英～先覚者の悲劇～」

4. 10月17日 第4回生涯研修会：東洋療法大会 in 大阪

オンライン開催、会員6名参加

内容(1) 6つの分化会

(2) 講師：粕谷大智先生

(東京大学医学部附属病院リハビリテーション部鍼灸部門)

講演：「腰痛の新しい概念とその治療の実際」

(3) 症例報告：臨床研究発表5題

5. 12月19日 第5回生涯研修会：東鍼連秋田交流会

オンライン開催、会員7名参加

内容(1) 講師：高橋郁江先生(秋田県師会)

講演：「女性の患者さんに喜ばれるセルフケアのお灸」

(2) 講師：セイリン株式会社担当者

講演「鍼灸電子カルテの便利な使い方」

6. 令和4年2月13日 第6回生涯研修会：講演と「あはき講座」

オンライン開催、会員19名、講師2名、青森県3名、宮城県3名、

福島県1名、合計28名参加

内容(1) 講師：菅原憲(すがわらけん)先生(臨床心理士、岩手県立大学大学院非常勤講師、心理臨床オフィスすがわら代表)

講演：「心の危機をどう乗り越えるかーより良い人生を得るために」

(2) 講師：武藤永治(むとうえいじ)先生(福島県鍼灸あん摩マッサージ指圧師会理事、同学術部長、赤門鍼灸柔整専門学校講師)

講演：「トリガーポイント鍼治療の理論と応用」

・1年間を通じた受講者数は、のべ79名、生涯研修修了認定証の申請者は6名でした。

組織強化部報告

組織強化部長 佐藤 茂

東鍼連リモート秋田交流会

令和3年12月19日に東鍼連秋田交流会リモート交流会が行われました。岩手県師会からは7名参加。なお、参加者には秋田県師会からお土産が送られましたが、中身は秋田の地ビール田沢湖ビールとイブリガッコの瓶詰されたタルタルソース和え、ご飯のタレというご飯のお供とリンゴジュースのパックそして稲庭うどんでした。

内容は、リモートによる講演会で秋田県師会の高橋郁江先生による「女性の患者さんに喜ばれるセルフケアのお灸」です。

高橋郁江先生は、鍼灸の日のイベントでアイーナに応援で駆けつけてくれた方でもあります。高橋先生はせんねん灸のセルフケアサポーターに登録されており患者さんにご自身にてお灸をするセルフ灸で体調管理をできるようにと指導する活動をされておられるようです。

私が印象に残ったのは、灸により皮膚ガンが発症した可能性がある例の報告でしたが、これはいずれもセルフ灸によるものらしく、灸のやりすぎを示唆されるようです。

次の講演は、セイリン株式会社による「鍼灸つながるカルテ(セイリン製電子カルテ)の便利な使い方」でセイリンが最近開発された電子カルテの説明でした。そのうち岩手県師会にも宣伝がされてくるかと思えます。

講演が終わり、1時間の間を空けた後にリモートの宴会が開始。

正直、通信状態が悪いのか雑音が入り何を言っているのかわかりづらい。講演会では何ともないのに宴会では聞き取れない。自分の家の通信環境がわるいのでしょうか？

ただ映像を流しながら酒をのみつつ、やることもないのでこの報告書を記載している次第。

ご参加くださった岩手県師会の方々におかれましてはお疲れさまでした。

それと秋田県師会の皆様にはおかれましては本当にありがとうございます。

来年は東鍼連の学術大会が秋田で開催されますので奮って参加しましょう。

第1回法制担当責任者会議報告

法制委員担当 佐藤 茂

令和3年12月9日に全鍼の法制担当責任者会議にリモート会議に参加いたしました。当県からは私、佐藤茂と佐々木実が出席。出席率はいいとは言えず30名くらいで、日本には47都道府県があるので3分の2程度の出席といったところです。

北から各都道府県の報告でしたが、岩手の発言の番では法制とはいうものの具体的に何を指すのか知らないなので、岩手においては特に報告できる事はなく、ここで皆さんの発言を参考にして今後の活動につなげさせて頂きたいという内容の発言にとどめておきました。

各県の発言は私と似たようなものもあれば、それに別にここで言うことでもないものもありました。はっきり言ってこの全鍼の法制とは無免許対策のことのようであり、それなら「前からやっていることじゃないか！」と正直思いました。

健康づくり委員会報告

委員長 古水 健吾

令和3年度の健康づくり委員会活動報告は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、年度初めに予定していた下記1～4の活動を中止し、5の活動は参加することができました。

1. 6月6日 第26回勉強会と打合わせ会議
2. 8月8日 鍼灸マッサージ県民公開セミナー2021
・健康づくり運動指導部門の担当
3. 健康づくり教室の開催
4. 健康づくり委員会会議（年度末）
5. 全鍼師会地域健康づくり指導者研修会参加
・オンデマンド開催の参加を呼び掛けたところ、古水健吾、佐藤明、朝橋正美、佐々木実の4名が参加した

以上の通り、報告と致します。

第20回東洋療法推進大会 in 大阪オンライン開催に参加して

副会長 佐藤 明

令和3年10月17日(日)、大阪大会がオンラインで開催されました。岩手県師会からは6名参加しました。全体的には560名という参加者数があったとのことでした。

さて、全国大会は過去に何度か参加したことがあります。盛りだくさんの分科会形式で開催され、あれもこれも聞きたい見たいものばかりで、少しずつ覗いて歩いているうちに、不完全燃焼のきらいがありました。しかし、今回の開催形式は、オンライン(当日参加)プラスオンデマンド(1か月間視聴可能)ということで、じっくり聞くことが出来たことは一番の利点と感じました。

そこで、学術担当者の立場から、粕谷先生の特別講演と学術委員会の5つの発表について印象に残った点について触れたいと思います。

まず、「腰痛の新しい概念とその治療の実際」という演題の粕谷先生のお話しですが、科学的なアプローチによる臨床の実例を紹介されていたことをはじめ、近年言われている腰痛の原因は脳にあると言われているように、ストレス状態が体内の鎮痛システムを狂わせるというお話しがありました。

健康な時は、セロトニンやノルアドレナリンが脳から分泌され痛みを調節するが、腰などに慢性の痛みがあるとその分泌の反応が悪くなるという。本来、ヒトは痛みを緩和させる生体防御機能が備わっているが、痛みが持続するなどしてストレスが強い場合はその機能が低下するということでした。

また、「腰痛は太りすぎが原因か？」という問いには、次のような回答例を紹介していただきました。

一般的に言われるような、太りすぎが原因だから痩せなさい。運動しなさいと言われる場合があるが、メタボ対策として減量すると足腰の負担が少なくなるからという説明よりも、肥大化した脂肪細胞が分泌する生理活性物質(アディポカイン)や免疫系細胞から分泌されるタンパク質(サイトカイン)を抑えることが必要であって、肥満脂肪細胞を引き締めることで、分泌が抑制され関節痛や腰痛、神経痛の予防にもつながるのだと説明した方が運動への動機付けになりやすいというお話しが勉強になりました。

次に、「学術委員会」の分科会である「症例報告～臨床研究発表」について触れたいと思います。

1題目は、「産後腰痛に対する骨盤ベルト装着と鍼治療併用の直後効果の比較」について印象に残ったこと記します。これは、大阪府師会の先生方が病院と大学との三者で共同研究した内容の発表でした。

妊娠後期に腰痛を訴え、産褥期にも腰痛が継続する者に対し、産後の入院中に早期に、鍼治療を加えることで40%に腰痛の軽減がみられ、痛みのコントロールに有用であることが示唆された。そして、この共同研究は、大学、医療機関、業団体での初めての試みであり、今後のモデルケースとして非常に貴重な機会であったと発表されました。

2題目は、「肝臓癌末期患者への経絡治療」という演題で、大阪府師会の先生が発表されました。

経絡治療方式により奇経治療も併用しながら、余命2か月と診断された67歳男性患者の全身倦怠感、下半身に力が入らないなどの主訴が、約1年の経絡治療と抗がん剤とでステージ4の肝臓の末期がんが完治した。しかし、その後、肺がん転移が見つかり、抗がん剤を増やしたものの肺出血が起きて2か月後に呼吸不全で死亡したという症例でした。経絡治療の

軽微な刺激による患者への負担の少ない施術でその効果が得られることを再確認にできたという発表でした。

3 題目は、「運動教室での擦過鍼刺激が歩行能力に与える影響」というもので、これも大阪府師会の先生が発表されました。介護予防のための運動教室において、諸運動を行ったほかにローラー鍼を使って、大腿部前側と下腿前側及び後側に、5 分間程度衣服の上から擦過鍼刺激を加えるという方法で、週 1 回を 1 2 回施術した結果、5 m 歩行や 3 m タイムアップ & ゴーなどの歩行能力が向上したという報告でした。

尚、ローラー鍼の皮膚への擦過刺激は、筋緊張や精神的緊張の抑制効果、押圧することで筋血流促進効果や筋の疲労除去、筋力向上が期待できるそうです。

4 題目は、「先天性疾患による車椅子生活から公務員への道のり」という演題で、神長川県師会の先生が発表されました。

先天性疾患が原因と思われる脊柱や仙骨の変形があり、上肢及び左下肢の震えと筋力低下の主訴に対して、鍼灸施術と運動療法、食事療法と睡眠指導を行い、QOL 向上・症状改善・自律神経調整を目的に、2014 年から現在まで、ほぼ週 1 回の施術を続け、公務員試験を突破し 2021 年 4 月から公務員として働き始めた 25 歳の男性患者の症例が発表され、鍼灸の有効性を改めて確認できたというものでした。

最後の 5 題目は、「昨年江の島に建立された杉山検校生誕 410 年記念像について」という演題で、これも神長川県師会の先生が発表されたものです。

杉山和一総検校の功績から始まり、記念像建立までのいきさつについてお話しいただき、制作過程や記念像設置と除幕式の様子が多くの写真を掲示しながら語っていただきました。その記念坐像の大きさは、高さ 165 cm、幅 110 cm、奥行き 75 cm というものです。地元神奈川県藤沢鍼灸マッサージ師会の呼びかけに、全国の 100 名以上の個人・団体から 860 万円余りの寄付が集まり制作されたということ、そして、令和 2 年 9 月 3 日に無事建立され、令和 3 年 5 月 9 日に除幕式が行われたということでした。関東方面にお越しの際は、ぜひ一度訪れてみてほしいというアナウンスがあり発表を終えられました。

以上、粕谷先生の特別講演と 5 題の研究発表について報告し、情報共有していただければ幸いです。その他の分科会もいくつかありますが、紙面の都合からすべてを報告し切れませんので割愛します。

次は、大阪大会に参加された 2 名の方から文章を寄せていただきましたので記します。

東洋療法大会 in 大阪に参加して

盛岡支部 中渡 智彦

いつも全鍼師会の大会には仕事の都合で参加できませんでしたが、今回は Zoom での参加も出来るとのことで、初めて全国大会の研修会に参加しました。

視覚障害委員会の分科会を聞きましたが、少し前に行われたアンケートの結果を公表してくださり、コロナが原因もあると思いますが、全国的に患者さんが減少していることが報告されました。

これを踏まえて、オンラインで皆さんの意見を聞く会議を計画していると話され、予定が合えば是非参加したいと思いましたし、来年もオンラインでの参加も出来るようなので、直接会うことは出来ませんが、皆さんと交流できればと思っています。

東洋療法大会に参加して

大船渡支部 古水 健吾

今回、東洋療法大会（今年はオンライン）に初めて参加しました。この大会には、前から参加したいと思っていましたが、日程、移動、経費などを考えると「ちょっとな」と思っていました。

そんな中、今年はオンライン開催と聞き、「これであればいいな」と思い参加してみました。家にいながら、参加できるというのはいいですね。

最初、オンライン接続がうまくできなかったのですが、一緒に参加したみなさんから協力していただき接続ができました。ありがとうございました。

大会当日は、三つの分科会（視覚障がい委員会、講演会、介護委員会）に参加しました。また、全日程の研修がオンデマンド配信され、大会当日に参加できなかった分科会も見ることが出来良かったです。

今後も、大会や研修会などが、オンライン（ハイブリット、オンデマンド配信など）やYouTubeを介して行われていくんだろうと思います。

これからも参加し、情報を見たり聞いたりして行きたいです。

第43回東北鍼灸マッサージ学術大会山形大会報告

学術部長 佐藤 明

昨年の山形大会がコロナ感染症拡大予防のため一年延期され、令和3年7月4日(日)13時からZoomを活用したオンライン方式で開催されました。

大会テーマは「山形2021 世界に発信 東洋医学のチカラ東北のチカラ!!」というものでした。参加者は東北全体で56名、本会からは会員16名の参加者がありました。

一部参加者にZoom接続不良の思わぬトラブルがあり、開始予定時刻より30分間ほど遅れて、池田研二山形県師会副会長の開会のことばに続き大会を主管された原田幸美山形県師会長の歓迎のあいさつ、佐々木実東鍼連会長のあいさつがありました。

そして、今回のメインプログラムとなる学術大会へと移りました。その演題テーマは、「不定愁訴症候群へのアプローチ」というものでした。発表は秋田県から時計回りの順番となり、本県代表の村上直人氏は3番目の登場でした。

臨床研究発表の六席は、自律神経失調症、心身症、神経症などの症例について、内容もよくまとめられていて、参加者は聞いていてとても勉強になったのではないのでしょうか。

現代の社会情勢にもよると思いますが、これらの症例は日常の臨床でも多く取り扱われることから、参加者の関心も高いようでした。また、発表者からは患者の訴えに耳を傾け受け入れながら治療に臨む姿勢が肝要という主旨の言葉が複数あり記憶に残りました。

大いに盛り上がった研究発表や質問も終わり、佐々木会長から発表者一人ずつへの講評と謝辞が行われました。

次に、各会議報告があり、保険部担当者会議報告、組織強化部担当者会議報告、学術委員会会議報告が行われました。

最後に、次期開催県である高橋和彦秋田県師会会長から概略が説明され、来年7月2・3日(土・日)を予定し会場は田沢湖芸術村「温泉ゆぽぽ」を予定しているということでした。

最後に、閉会のことばが工藤司山形県師会副会長から述べられ大会は終了しました。

まとめとして、岩手県師会役員並びに会員の参加協力のお陰で大会の盛り上げに大いに貢

献できたのではないかと思います。各位に対して心から感謝を申し上げご報告と致します。

追伸：大会終了後に、オンライン懇親会が開催され、全体で32名、本会から8名の参加者がありました。全員で自己紹介や近況報告などを一通り行い、袖林正美さんの民謡外山節や村上晃さんのハーモニカが披露されるなど、こちらの方も盛り上げに一役買っていただきました。ご協力いただいた皆さん誠にありがとうございました。

令和3年度各支部活動報告

一関支部

支部長 館下 正則

会員の皆さん、お変わりありませんでしょうか。新型コロナウイルスが全世界に蔓延し今年で3年目ですが、新たにオミクロン株といった感染力の強いウイルスが短い期間で広がり大変な年初めとなりました。

100年前に起こったスペイン風邪3年日で終息されたとテレビで話されていました。前向きに捉え、マスクなしの日々の生活に戻ることを願っています。

大船渡支部

支部長 古水 健吾

令和3年度もコロナ感染拡大防止のため活動ができませんでした。こんな中、会員同士では、電話やメールなどで近況報告をしあっていました。できれば、直接みんなと会って、話したり、飲んだりできるのがいいですね。1日も早い収束を願っています。

今年の会員動向は、昨年と同様、変わりありませんでした。

活動報告

4月18日 定期総会（福祉センター3階）会員9名出席

なお、東洋療法 in 大阪大会や東鍼連山形大会、県の会議、生涯研修会等はオンラインでの開催で、移動もなく安全に開催されたことは大変良かったと思います。

終わりに、早く会員の皆さんと膝を交えて談笑したいです。

盛岡支部

支部長 佐藤 明

2021年も新型コロナウイルス感染症で明け暮れた1年間でした。年が明けたら、2月24日のロシア軍のウクライナ侵攻の仰天ニュースが飛び込み衝撃を受けました。

また、3月16日の夜中には、東日本大震災を連想させる震度6強の大地震が発生しましたが、地震による会員の被害がなかったことは幸いでした。

さて、年度初め4月の支部定例総会は、新型コロナウイルス感染症の心配があり少人数の出席者ではありましたが、提案された議題は全て承認していただきました。

次に、盛岡市委託事業の健康づくりマッサージ等指導教室は、4月から7月までは3密対策としてマッサージ施術を行わず対面式で講話と体操指導が行われました。しかし、コロナ第5波の拡大により、8月から10月までの19教室と、さらに第6波が急拡大したため

翌年1月後半と2月から3月までの14教室については、参加者に運動・体操資料を郵送し指導員が個別に電話で指導するという方法で実施されました。それでも、1年間で70回ある教室の約半分は対面式で運営し、高齢者の健康保持増進と介護予防に貢献できたものと思います。

また、6年目となる支部情報メールを16回配信し、これを通じて支部の活動状況をお知らせしたほか、コロナ対策の呼びかけを行うなど、会の結びつきを強める役割を果たしていると思います。

続いて活動日誌による報告を致します。

- 4月11日 令和3年度支部定例総会が開催され、会員50名中、出席9名、委任状22名、計31名が出席した。議長は村上晃氏が務め、提案された全議案が全会一致で承認された。総会終了後、第1回支部役員会が開催され、役員3名と監事1名が出席した。(アイーナ)
- 5月16日 岩手県師会第80回定時総会がオンライン開催され、15名が出席し委任状が25名。
- 6月6日 岩手県師会令和3年度第1回生涯研修会がオンライン開催され、会員12名が参加した。終了後、オンライン懇親会が行われ会員6名、家族1名が参加した。
- 6月26日 健康づくりマッサージ等指導教室第1回全体ミーティングが実施され、指導員7名と盛岡市長寿社会課職員石橋保健師出席。(アイーナ)
- 7月4日 東鍼連山形学術大会(第2回生涯研修会)がオンライン開催され、会員10名が参加した。臨床研究発表は、当支部の村上直人氏による「不定愁訴に対する鍼治療」。終了後、オンライン懇親会が行われ会員6名が参加した。
- 7月18日 第2回支部役員会開催。役員3名出席。(アイーナ)
- 8月8日 岩手県師会令和3年度第3回生涯研修会がオンライン開催され、会員10名が参加した。
- 10月17日 岩手県師会令和3年度第4回生涯研修会(東洋療法大会 in 大阪)がオンライン開催され、会員3名が参加した。
- 10月30日 健康づくり・マッサージ等指導教室第2回全体ミーティング開催。指導員5名出席。(岩手マッサージセンター)
- 11月21日 第3回支部役員会開催。役員4名出席。(アイーナ)
- 12月11日 忘年会が開催され、会員6名が参加。(うまや)
- 12月19日 東鍼連秋田交流会(第5回生涯研修会)がオンライン開催され、会員5名参加。

令和4年2月5日 健康づくり・マッサージ等指導教室第3回全体ミーティング開催。

指導員6名と石橋英美(てるみ)市長寿社会課職員出席。(アイーナ)

2月13日 岩手県師会第6回生涯研修会がオンライン開催され会員8名が参加。

3月6日 第4回支部役員会開催。4名出席。(アイーナ)

次に、会員動向についてですが、令和3年度新入会者は残念ながらありませんでした。

退会者は、佐藤素子さん、中嶋義人さん、姜奈希(かんなひ)さん、中村強真(つよみ)さんの4名です。また、立花梅子さんが全鍼師会は退会しますが県師会のみ会員になりました。

新年度からは支部会員46名となり、その内、県師会のみ所属が5名となります。

退会された中村さんは52年間在籍され、昭和50年代から60年代にかけて宮古師会長

を務められていました。支部にご貢献いただいた方がたのご功労に対して支部を代表して心から感謝を申し上げます。

結びに、令和3年度は支部も県師会も入会者がありませんでした。コロナ禍の影響から仕事が減りやむなく退会される方が続いています。しかし、我が業界は歴史的にも風雪に耐えられる強い体質を持っています。会員の皆様におかれては、それを信じてコロナ後は仕事が増大するイメージを持ち、環境に適応しながら結束を高め活動して参りましょう！

投 稿

二度目の里帰り

盛岡支部 袖林 正美

あれは19年9月も半ば、盛岡にしては長い夏も終わりを告げ、秋の到来にほっとしていた頃だと思います。大阪の父から電話がかかって来ました。

「大阪の暑さを逃れて遊びに来るんだなあ」とワクワクしていたのを覚えています。

「ちょっと様子を見ててんけどなあ。お父さんの体がガンに侵されてるんや。ステージは3」ガン！

高校の時に肺結核を患った以外は、病気一つしたことがなく、後年、花粉症になっても「気のせいや」と撥ねつけていたのに。最近大好きな酒が受け付けなくなって来たり、体が痒いなあと検査を受けたところ、肝臓の胆管にガンが出来ていて、場所的にも切れず、80歳と言うこともあり、抗がん剤を直接ガン細胞に打ち込む治療しかありませんでした。本当は2回は投与しないとイケなかったらしいのですが、病院はもういやだってことで、1度で退院して来ました。

それからすぐに盛岡に、母と共に私たちを訪ねてくれました。開運橋を渡りながら、閉鎖したホテルルイズを見上げながら、父が「ここに泊まってみたいわあ」と言いました。主人がそこで言わく。「2年後に立て替えてリニューアルしますから、お父さんぜひ生きて、一緒に泊まりましょう！」と。

それから2年後の昨年10月ホテルルイズがリニューアルオープン。コロナの波も少し落ち着いた頃、両親が盛岡に来てくれました。オープン1週間目のルイズにチェックインの手続きの途中建物の新しいにおいを嗅いだり、スタッフのどことなくそわそわした雰囲気を感じながら、生きて元気に泊まれたことに感動しました。

前から行きたかった小岩井農場では、入場してすぐに蜂に追いかけられました。みんなヨーグルトやアイスクリームを食べては「レディーとかブルガリヤなんて話にならんなあ」なんてもうおいしくてしょうがなかったです。なんてったってメインはトラクターで1周するコースと言うのがあって、自転車くらいのスピードでガイドさんも同乗して蛩で有名な沢の音を聞いたり、杉野森で土を踏んで山彦を聞いたりと楽しい1日を過ごしました。

南昌荘にも行って、どんと晴れのモデルになった部屋に入ったり、豪華な庭園を歩いたり、お茶を飲んだりして、静かな秋に浸っていました。

大阪に帰る前日は、家で寛いでもらい、行きつけの焼き鳥屋さんで飲み会をしました。焼き鳥はもちろん海鮮もおすすめで、大きなカキフライに父が大喜び、母なんかは「白ご飯もある」なんて喜んで、両親のお気に入りが増えました。楽しかった3泊4日の旅も終わり、両親は大阪に帰って行きました。

それから1週間、父から「どないしてるんやあ。」と電話がありました。「疲れが取れへんねん。おせち注文したから、30日に届くで楽しみにしときや。」と。この頃から、ガンが最後の悪あがきを始めた様でした。

それからなんとなく注意していますと11月下旬になると、「三日に1回しか食事を取らなくなった、栄養のゼリーしか食べられなくなった」と母から聞くようになり、とうとう12月に入院との知らせが来ました。家族もお見舞いに行っても、コロナのため、会話はリモートで行っていたそうです。月半ば、母から「お父さんに声聞かしたって」との電話があったので、早速電話して見ましたが翌日父からかかって来て、「ひろ君と幸せになりや。ひろ君、今度ばかりはもうあかんわ。正美のことたのむなあ」と想像もつかない魂の抜けた声が聞こえて来ました。その頃には、足が浮腫み、黄疸も出て、腹水も溜まっていました。

暮れも押し迫って来た頃、母から「お父さんだいが悪いでえ。先生も岩手の娘さんにも会わせてあげたいって。」早速翌日第2回目の里帰りとなりました。大晦日でもあり、主人が慌てて空いている新幹線（グリーン車）を取ってくれました。

母と待ち合わせて行きつけの「きりしま」と言う喫茶店でほっと一息。ママさんをはじめ、みなさんが結婚を祝ってくれた人たちばかりで、「よう帰って来たなあ、ご主人初めまして」なんて旧交を温めました。

そして父を見舞いに行きました。個室に移っていたことや、もう死期が迫ってきていたこともあって、特別に病室に入れる許可が下りました。

「お父さん、正美とひろ君も来てくれたでえ」と母の呼びかけに、「ごくろうさん」と言ってくれました。がそれは、母の通訳がなければ聞き取れない言葉でした。汗ばかりかいて「水」「水」と何度も言っては母が注ぎ口の付いた小さな容器で飲ませていました。そして時折もごもごと言うのです。「…してえ。この頃殺してえってゆうねん」と母が教えてくれるのでした。遠藤周作の随筆の中で、家族が延命治療を受けさせた時に、患者さんが「殺しておくれ」と書いて示したと言うのがあったのを思い出しました。父は延命治療は断っていて、病院もその方針ですすめていたのですが、この小説のお話が、誇張でもなんでもないと私はただつらかったのです。主人は「お父さん、それは出来ないんですよ」と静かに答えていました。

翌日からは会話は出来なくなり、人の問いかけにはにっこりしたり頷いたり、私には両手を出して握手してくれるようになりました。時々看護師が巡回に来て、右腹部にパッチを貼るのに遭遇しました。主人が率直に「それはなんですか？」と尋ねたところ、モルヒネでした。そのうち酸素マスクが取り付けられるようになり、血圧もだんだん下降して行きました。9日午前4時、階下から母の声がします。「父の心拍数が急激に落ちている」と。病院に駆けつけ、阪神大震災と同じ時刻に死亡診断が下りました。享年82歳。

父の体に手を触れながら、母が「お父さん、楽になってんなあ」と語りかけていました。

正月三が日は葬儀を避けるのが風習らしく、火葬場の順番待ちのため4日後の13日にお通夜、14日に告別式を行い火葬している間に食事を取りお骨を拾う。こう言う流れです。

家族や親戚の他、久しく会わなかった知人も参列してくれて、みんなで父を忍びました。両親が一生懸命働き、良い人間関係を作ってきたからこんな葬儀が出来たんだなあと思いました。これを人生の糧として、岩手で生きていこうと決心して里帰りを終えました。

今回の里帰りは、主人なしでは実現出来ませんでした。同じ視覚障害者として力を合わせて頑張ってください。

編集後記

広報部長 松下 優子

令和3年度もコロナに明け暮れた年となりました。新しい生活様式もかなり定着し、私たちリモート会議、研修会に参加できるようになりました。しかし、仕事や人間関係においては少々距離ができたように感じます。

ワクチン、新薬は開発されたものの発熱などの副反応に苦しむ方々も大勢おります。私は視力低下が顕著に表れ、4回目は受けないと思います。コロナ下において風邪などで受診しても、まず、コロナを否定する検査が優先され結果がでるまでは薬も処方されません。健康管理には神経質にならざるを得ません。

しばらくはコロナと共存しながらの生活になると思いますが、皆さんと楽しく会食したりお話ができるようになればと願っています。

最後に、会長、副会長には多大なるご協力をいただきました。また原稿をお寄せくださった会員、役員の皆さんありがとうございました。

.....

奥付

一般社団法人 岩手県鍼灸マッサージ師会
令和4年度 会報 「東洋療法いわて」 第54号
令和4年5月1日発行

発行人 会長 佐々木 実
〒028-7401 八幡平市西根寺田第13地割108番地
電話 0195-77-2057

編集責任 広報部長 松下 優子
〒020-0667 滝沢市鶉飼向新田7番地-227
電話 019-687-2405

事務所（事務局）会長 佐々木 実
〒028-7401 八幡平市西根寺田第13地割108番地
電話 0195-77-2057
E-mail : ms2001@aioros.ocn.ne.jp
<http://iwateken-harikyumasikai.jimdofree.com/>

郵便振替 岩手県鍼灸マッサージ師会 02360-9-19833

印刷 副会長 佐藤 明
〒020-0117 盛岡市緑が丘3丁目14番地33号
電話 019-681-8620

KANAKEN

痛み・美肌・疲労回復に

Biomini II

—バイオミニII—

バイオミニ II

KE-562 価格 138,000円+消費税

(クラスII/特種) 総販売番号: 226AFBZ00071000

- 定格電圧: DC5V、単三形乾電池4本、専用ACアダプタ UC83120020 (入力 AC100V)
- 定格消費電力: 0.3W
- 寸法: (高さ) 73.1mm × (幅) 223.5mm × (奥行) 124.6mm
- 重量: 250g
- 最大出力電流: 2mAms (1000Ω 負荷時)
- 定格出力電圧: 12.6Vp-p (1000Ω 負荷時)
- 出力周波数: 0.27~333Hz
- パルス幅: 1ms~100ms
- 出力波形: パルス波
- 出力チャンネル数: 2チャンネル
- 治療時間: 15、20、30分
- 使用環境条件: 温度 10~40℃、湿度 30~75%、気圧 700~1060hPa
- 安全装置: ゼロスタート方式、電源スイッチ、出力レベルDC/WNスイッチ
- 適合規格: JIS T2023 2011

付属品 (別売品) 別売品
 ①和室導子 TRS-7000 ②マイクロアダプター-2脚1脚
 ③オクトバースコード ④専用ACアダプター



4つのモードから選ぶ
簡単操作!!

マイクロカレント
微弱電流



モード ごり

モード 痛み

モード 美肌 (再生)

モード 疲労 (リンパドレナージュ)

- ▶ 痛めた部位をメンテナンス。
- ▶ ごりや痛みはお肌の大敵。

- ▶ 傷ついた身体の修復。
- ▶ しみ・しわ・たるみ・くすみ肌を改善。

- ▶ 疲れ切った身体を回復。
- ▶ 疲れた体は美容の大敵。

痛

みの治療に新しい提案
即効深部刺激、サーノスだけのPDMウェーブ搭載



表層部位から深層部位まで刺激をコントロール。
新開発の「PDM波形」を搭載。

KANAKEN

低周波治療器

SARNOS

—サーノス—

低周波治療器

SARNOS (サーノス)

KE-548 価格 850,000円+消費税

(クラスII/特種) 総販売番号: 222ALBZ00008000

- 定格電圧: AC100V
- 電源周波数: 50/60Hz
- 電源入力: 100VA
- 最大出力電圧: 130Vpp±20% (500Ω 負荷時)
- 最大出力電流: 70±10mAms (500Ω 負荷時)
- 出力周波数: 1.26kHz±10%~1.74kHz±10% 2.7kHz±10%
- 出力波形: A, B
- 出力チャンネル数: 6
- 安全装置: ゼロスタート方式・ストップスイッチ・電源ヒューズ5A
- 本体の寸法: 幅330mm × 奥行351mm × 高さ226mm
- 本体の重量: 約5.2kg



【付属品】
 電源コード……………1本
 アースコード……………1本
 2P-3P交換プラグ……………1個
 導子コード……………異形導子2本
 汎用導子……………異形導子・異形導子
 マジックバンド……………長3本・短3本
 添付文書……………1部
 取扱説明書……………1部

ただいまデモンストレーションを実施中です。
お気軽にお問い合わせください。

総発売元 株式会社 **カナケン**
 本社: 〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
 TEL_045-901-5471代 FAX_045-902-9262
 http://e-kenkou.jp/ E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所: TEL_06-6935-3016代 FAX_06-6935-3017
 新潟営業所: TEL_025-286-0521代 FAX_025-286-8870
 福島営業所: TEL_024-961-7211代 FAX_024-961-7221
 仙台出張所: TEL_022-287-6273代 FAX_022-287-6218